

PRESSBOOK

Izumi KATO

Geijutsu Shincho

December 2016

芸術新潮

Geijutsu Shincho
December 2016



加藤泉×陳飛 日中2人展が 生む磁場、電場

作家が作家を招聘した、というユニークな2人展。加藤泉（1969年生れ）と陳飛（1984年生れ）は香港で知り合った。たまたま隣の部屋で展覧会を行ない、意気投合。今回は加藤が陳を誘って2人展が実現した。陳の作品は日本初公開だが、マンガやアニメの影響が濃厚に感じられる。しかし実際に作品を目にする、「力強く、とても絵画的」とは加藤の評。一方、

「上」陳飛《「Niji ni ita》 2016年 アクリル、カンヴァス 240×180cm
Courtesy the Artist ©2016 Chen Fei
[左]かつては発電所だった空間に、加藤の立体。《無題》2016年 木・ソフトピニール、アクリル 120×38×70cm
撮影=佐藤祐介 Courtesy Nizavama Art Park
Power Plant Museum ©2016 Izumi Kato

知られる加藤は、数年前からソフトピニールの作品を手掛けている。ソフビは日本発の技術で、作品の素材として使っているアーティストはおそらく世界で一人だけという。オリジナルの金型から生まれる“製品”を加工し、“作品”化する。以前は発電所だった美術館での展示構成は、空間のほどよい余白が心地よく、作品と場が見事に響き合っている。

[9・18→12・18 下山藝術の森 発電所美術館]

